



理念

1. 患者さまの立場に立って、心のこもった思いやりのある、温かい医療を提供できる病院を目指します。
2. 十分な説明と同意に基づいた、安全で良質かつ高度な医療を提供できる病院を目指します。
3. 責任と誇りを持ち、地域の皆さまに信頼される病院を目指します。

入職式



Ambition

理事長・総院長
野島 丈夫

25名の新入職員を迎え、いよいよ平成22年度がスタートしました。自己のもてるものを十分に生かし、さらにそれを研ぎ、「良い病院」「良い施設」を目指す一員であるとの意識をもって業務に励むよう期待しています。

3月には、待ちに待った病院機能評価 Ver. 6 の認定証が届きました。Ver. 4 から5年間、いささか気の緩んだ時もあったかと思いますが、気を引き締めて職員一丸となって病院の業務改善に努めてきた成果と考えます。次回受審までの5年間、この達成感と緊張感を日々の業務に注ぎ、さらに心のこもった患者さま本位の看護サービス・介護サービスとなるよう願っています。

本年度は、部署面談・個人面談を行い、相互理解と、より一層連携のとれた組織を目指します。

また、久々に診療報酬のプラス改正が施行され、医療の重要性が改めて確認された本年度、十字会の基本方針である【急性期医療から亜急性期・回復期・慢性期・在宅医療・介護までのトータルな医療・看護・介護の提供】をさらに推進してまいります。機能的で活力あるチーム医療と心温まるチームケアに力を注ぎ、地域医療・介護連携を通して地域の皆様に信頼される「良い病院」「良い施設」を実現していきたいと念願しております。



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院 認定第JC413-2号 審査体制区分3(ver.6.0)

医療法人十字会

野島病院	TEL: (0858) 22-6231	FAX: (0858) 22-6843	指定居宅介護支援事業所のじま	TEL: (0858) 22-6231	FAX: (0858) 23-7122
介護老人保健施設のじま	TEL: (0858) 23-7100	FAX: (0858) 23-7101	明倫・小鴨地域包括支援センター	TEL: (0858) 23-7106	FAX: (0858) 23-7122
デイケアセンターのじま	TEL: (0858) 23-8005	FAX: (0858) 23-8006	倉吉市障害者地域生活支援センター	TEL: (0858) 22-6239	FAX: (0858) 23-7122
訪問看護ステーションのじま	TEL: (0858) 23-7104	FAX: (0858) 23-7122	はっぴい		
訪問介護ステーションのじま	TEL: (0858) 23-7107	FAX: (0858) 23-7122	すくすく園(病後児保育)	TEL: (0858) 22-6231	

新機種導入

血管連続撮影装置 (DSA : Digital Subtraction Angiography)

脳神経外科専門医
脳血管内治療専門医
竹内 啓九



DSA装置

平成22年4月、新しい血管連続撮影装置が始動しました。従来の装置と比べ、格段の進歩を遂げた新機種で、X線のアームが一本から二本になり、二方向同時の透視が可能となるため、造影剤投与量が減り、カテーテル検査、血管内治療の時間が短縮されます。またX線透視装置が12インチフラットパネル二台搭載となり、広い視野を得ることができ、像の歪みも無くなります。PureBrainという最先端の技術が盛り込まれ、拡大像でも画像が鮮明になり、検査・治療の際、最も基本となる透視画質が格段に向上します。

この機器は、当院が中国5県では初めての導入となり、脳血管性障害、循環器疾患、消化器疾患等に関して、より安全で、迅速、確実な検査・治療が提供できるようになりました。

【血管内治療】

足・腕の動脈からカテーテルを挿入し、画像で確認しつつ部位まで導き管を通して必要な器具を病巣に送り疾患に応じた処置を行う。

低侵襲の治療法で、負担も大幅に軽減され入院期間も短縮できる。

手術では困難な部位の病巣治療が可能になる場合もある。



操作室

最新式 乳房撮影装置 導入 (マンモグラフィ装置)

新しい装置では受診される方々の検査時の負担が軽減され、非常に鮮明な画像が得られます。新たな検査室を設けリラックスして検査を受けていただける空間となります。



『病院機能評価Ver. 6に合格しました』

副看護部長 野島 八栄子

「やった!」「うれしい!」ピョンピョン飛び跳ねたい気分です。遅いスタート。「あそこができていない、どうしよう」「ここができていない、絶対合格するはずないわ」と準備した日々が懐かしく思い出されます。

でも「どうしよう・・・」「どうしよう・・・」と悩んでいるよりも、1題ずつでもやっていけば解決していくのだということを経験しました。

5年後の受審に向けて今できている良い業務内容を崩さないように、またアドバイスを受けたことはそれに近づけるようにがんばりましょう。

それにしても野島病院スタッフの底力は本当にすごいなあと感じつつ、達成感に浸っています。



事務次長 滝沢 和嘉

「うれしさ」と「ホッとした気持ち」で一杯です。

<最初>「Ver.4の時は大変だった」「Ver.6はもっと大変なのでは」
不安で一杯

<途中>「大変だけだなんとかやらなければ」「間に合うかなあ」
不安と頑張りと焦り

<審査>「やるきゃない」「ここまでやった。後は野となれ山となれ」
居直り

<審査後>「やるだけやった」「結構うまくいったのでは」
達成感と期待感とちょっぴり自信

経過報告をするとすれば、こんなところではないでしょうか。とにかく理事長の「絶対にやりきるのだ」という強い決意に引っ張られてやれたように思います。

私にとって印象深いのは年報の作成です。初めは4～5頁程度で済ますつもりでしたが、理事長の強い指導があり各部署及び委員会の協力を得て115頁の大作となりました。

一昨年のオーダリング稼働、この度の病院機能評価受審を通して野島病院の底力を感じます。

これからは一定以上のレベルにある野島病院の一員としてさらに良い病院となるよう頑張っていきたいと思っています。

経理課長 河本 道寛

今回の受審では、訪問審査時にサーベイヤーから厳しい指摘をされたこともあり認定されるかどうかとても不安だったのですが、無事に認定され更新することができとてもうれしく思います。

受審時の対応については事前に情報収集していましたが、危惧に過ぎなかったものやそのとおりであったもの、想定外のこともあり緊張の連続でした。

今回の受審で、当院における改善すべき点が明確になったこと、受審の準備をする中で改善効果が高めることができたこと、職員が丸一となって受審に挑んだことは大きなプラスになったと思います。

今回は、無事に認定され更新できましたが、5年後には更新があり、最新バージョンの厳しい評価基準を満たす為に、やってきたことの継続と更なる飛躍が求められると思います。この経験を生かし、より良い病院になるよう努力していきたいと思っています。

最後に、受審の為に毎日夜遅くまで準備された皆様、本当にお疲れ様でした。

診療科紹介

【眼科】

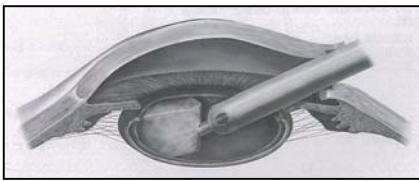
部長 松浦一貴
魚谷 竜

◇特色・実績◇

1. 白内障手術：H21年度、556例。術前より眼内レンズ挿入困難と診断された2例を除く、全554例に眼内レンズ挿入。
約98%自己閉鎖創無縫合超音波手術にて行います。通常、無縫合手術の難しい進行例、合併症に対しても全例自己閉鎖創による手術を行いました。
2. 緑内障手術：線維柱帯切除術、線維柱帯切開術の2種類を症例により選択。松浦医師は毎週月曜日に鳥取大学病院にて、白内障、緑内障の指導及び難症例の執刀にあたっています。
3. 難治性の角膜、網膜病変に対しては適宜大学病院に紹介、連携をとっています。

○白内障○

透明である水晶体の混濁による視力低下で、他に眼疾がなければ手術により視力回復が可能。



超音波による水晶体処理

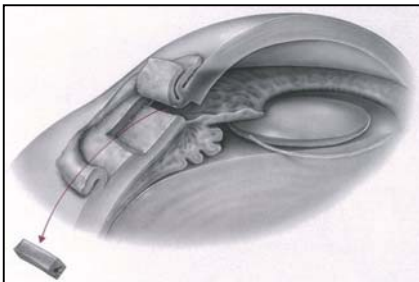


眼内レンズ挿入

○緑内障○

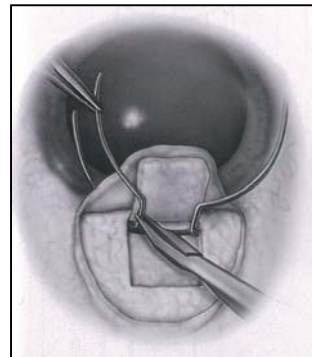
視神経が萎縮し、視野欠損や視力低下をきたす。眼圧が高いと危険度が増す。白内障と異なり手術をしても回復しない。

点眼にて眼圧を下げ進行を予防。点眼にて眼圧下降しなければ、手術による進行予防。



線維柱帯切除術

強膜に窓をつくり、中に開けた穴から眼内の水分を漏出し、圧を下げる。



線維柱帯切開術

強膜に窓をつくり、圧を上げる原因と思われるところを穿刀(コの字型で針金状)で切開する。

~~~~~ Mimosa ミモザ な空間 ~~~~~

～新鮮な感覚～

《新たな仲間を迎えて入職式》 4月1日

2日間のオリエンテーションを終えて書かれた感想文には、

理事長、各部署スタッフの思いを込めた講話が心に届いた証の言葉がたくさん見られた。

理念・思いやり・患者さまの立場・誇り・向上心・主体性・自己実現・チーム医療・連携・責任感……

《時ならぬ雪》 3月10日

雪の中をやって来た3月入職スタッフの言葉。

『明るく開放的な空間の中にも落ち着いた雰囲気施設の。職場の皆さんが誇りをもって仕事をしている。自分も向上意識を常にもち、誇りをもって働ける』

この新鮮な感覚を大切に。

春の雪を受けながらミモザの花が咲き始め、デイケアセンターでは利用者の皆さんが明るい黄色の花を愛でて下さった。

病院中庭の幼木ミモザは、やっと二枝ミモザイエローに彩られた。

Noji



医師紹介

(4月に着任された先生です)



魚谷 竜
うおたに
りゅう

- ①担当診療科：
眼科
- ②趣味・特技：
読書・ギター
- ③抱負・PR：
精一杯がんばります

レストラン 十字星 からの おしらせ

お楽しみフランチ

下記の期間、対象メニューの食事をされた方全員にケーキとコーヒーのサービスがあります。

日時：4月19日～4月30日(平日・土曜日)
11時～14時



野島病院正面玄関横の売店も
是非ご利用ください

<対象メニュー>

- ★ランチメニュー
 - 日替ランチ (みそ汁、ワガ付) …… 580円
 - ハンバーグランチ (みそ汁、ワガ付) …… 630円
 - 照焼きチキンランチ (みそ汁、ワガ付) …… 630円
- ★丼物
 - 牛丼 (みそ汁付) …… 500円
 - うな丼 (みそ汁付) …… 650円
- ★軽食
 - カレーライス (ミサガ付) …… 550円
 - カツカレー (ミサガ付) …… 650円
 - エビピラフ (ミサガ付) …… 600円
 - チキンライス (ミサガ付) …… 600円
 - ミートソースパグティアー (ミサガ付) …… 600円
 - ナポリタンスパグティアー (ミサガ付) …… 600円
 - 焼きそば (目玉焼付) …… 600円
- ★麺類
 - しょうゆラーメン …… 450円
 - たぬきうどん、きつねうどん …… 400円
 - ざるそば …… 500円

外来診療担当表

(午前) ◆診療時間◆ 午前9時から正午まで

(平成22年4月1日現在)

診療科	月	火	水	木	金	土	日
脳神経外科	野島 (総院長) 竹内	宍戸	中島定	宍戸	野島 (総院長)		
外科・肛門科	山本 (院長)	牧野	牧野	山本 (院長)	宇奈手		
整形外科	中島匡	名島	中島匡	萩野	名島		
消化器科初診当番	山本 (院長)	三村	牧野	萬	宇奈手		
内科	一診	宮崎	石村唯	宮崎	石村唯	宮崎	
	二診	萬	三村	石村昌	萬	三村	
	三診	石村昌	井川 宮本	山本玲	池田	古瀬 (隔週)	
神経内科	下田	安井	三宅	下田	三宅		
精神科・心療内科	熊谷	熊谷	熊谷	熊谷	熊谷		
泌尿器科	松本	---	---	---	井上		
透析	---	透析医師 交代診療	---	---	透析医師 交代診療		
眼科	魚谷	松浦 魚谷	松浦 魚谷	松浦	松浦 魚谷		
耳鼻咽喉科	鳥大医師	---	鳥大医師	---	鳥大医師		
形成外科	中山	---	陶山	---	---		
人間ドック	細田	細田	細田	細田	神波		
脳ドック	中島定	下田	宍戸	三宅	竹内		

休診

(午後) ◆診療時間◆ 午後2時から午後5時まで

(注) 眼科の午後の診察は、紹介の方と予約の方を中心と致します

診療科	月	火	水	木	金	土	日
総合外来	萬 三宅	石村昌 下田 宮崎	野島 (総院長)	鳥大医師 (外科)	神波		
眼科	魚谷	松浦 魚谷	鳥大医師 (予約のみ)	松浦 (手術日)	松浦 魚谷		
泌尿器科	---	---	泌尿器科医師 交代診療	---	---		
透析	---	---	透析医師 交代診療	透析医師 交代診療	---		

休診

◆受付時間◆

午前8時30分から午後4時まで

◆休診日◆

土曜日、日曜日、祝日、祭日、
お盆(8月14, 15日)、
年末年始(12月31日, 1月1, 2, 3日)

編集後記

黒澤明監督の『赤ひげ』は、映画の“新しい”可能性を追い求めて当時異例の2年という歳月をかけて制作したそうです。月日こそかかってはいませんが、広報誌『赤ひげ』も多くの方の協力を得て、十字会のたくさんの“新しい”をお届けすることとなりました。今年度も皆様に愛読される広報誌を目指し頑張ってまいります。
神田

発行所：
〒682-0863
鳥取県倉吉市瀬崎町2714-1
ホームページURL：
<http://nojima-hospital.jp>
代表E-mail：
info@nojima-hospital.or.jp
地域医療連携室専用E-mail：
renkei@nojima-hospital.or.jp

ひなまつり

回復期リハビリテーション病棟 (7階病棟)

3月18日



みんなでお内裏様とお雛様の衣装の飾り付けをしました



患者さまのギター演奏もありました

介護老人保健施設のじま

3月3日



ゲームをしたり歌をうたったりして過ごしました

介護施設見学と パワーリハビリの体験参加

3月18日、倉吉市の指定により、介護家族の支援を目的とした倉吉市民対象のデイケアセンターのじまの体験・見学会がありました。



パワーリハビリの体験の様子